



2018年7月26日

# One to One のプロモーションを実現するバリアブル印刷ソフトウェア「FusionPro VDP CREATOR」と「FusionPro Expression」を発売開始

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、バリアブル印刷により One to One のプロモーションを実現する商用印刷向けの新製品として、(1) ダイレクトメールやチラシ等における住所や宛名などの文字情報や、商品などの画像を可変印刷するバリアブルデータプリンティングソフトウエア「FusionPro VDP\* CREATOR」と、(2) FusionPro VDP CREATOR との連携により、写真上の指定した場所に名前などの文字情報をパーソナライズ画像として可変印刷できるイメージバリアブルソフトウエア「FusionPro Expression」を2018年8月2日から発売します。価格はいずれもオープン価格となります。

本製品は、リコーグループ企業である米国 MarcomCentral (代表: Coleman Kane)が開発したソフトウエアです。2005 年より北米や欧州において販売を開始し、すでに 5 万ライセンスを超える出荷実績をもつ FusionPro を、新たに日本市場向けに発売します。

商用印刷市場においては、顧客一人ひとりに最適化したダイレクトメールや、チケット、クーポンなど、対象となる顧客ごとに合わせた One to One のプロモーションを行うためのバリアブル印刷ニーズが拡大しており、このバリアブル印刷をいかに効率的に行えるかが課題となってきています。

新製品は、大量の可変データを効率的に処理できるほか、Adobe 社の Acrobat Pro や InDesign のプラグインソフトウエアであるため、デザイナーや印刷会社にとって使い慣れた操作環境やデザインファイルをそのまま活用できるため、バリアブル印刷物の制作における作業効率やデザイン性を向上します。

リコーは、7月26日~31日に東京ビッグサイトで開催されるIGAS2018に出展し、本製品をご紹介します。

\* VDP は、Variable Data Printing の略語です。



バリアブル印刷出力例

#### <新製品 FusionPro シリーズの主な特徴>

#### 1. 高い生産性を発揮

- ・ 組版ファイル出力処理において高い生産性を発揮。商業印刷においてニーズが高い様々な印刷 アプリケーションの制作、出力処理を効率化します。
- ・ また、出力される組版ファイルは、指定したデータ件数ごとにファイルを分割することが可能です。これにより大量印刷時などに複数のプリンターで分散印刷することで、印刷時間の短縮が可能です。

#### 2. Adobe社のソフトにプラグインして利用するため、デザイナーが使い慣れた環境で操作が可能

・ Adobe社のAcrobat Pro や InDesignにおけるプラグインとして利用するため、デザイナーが使い慣れた操作環境とデザインファイルを活用でき、デザイン性が高いテンプレートの制作を効率的に行えます。

## 3. 拡がるデザインの表現力

・ RICOH ProCシリーズにて出力が可能なスペシャルトナーや長尺用紙を利用したバリアブル印刷物の作成が可能です。デザイナーのアイデアを活かし、デザイン制作の幅を拡げることが可能です。

※Adobe、Adobe Acrobat、InDesignは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

### | リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2018年3月期リコーグループ連結売上は2兆633億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の"はたらく"をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 http://jp.ricoh.com/